

2018年

ホームページへGo!→
スマホで教室だよりが見られます



教室だより6月号

公文式本市場教室 火・木 3~7時 TEL 61-4936(上平方)

横割教室 月・水 3~7時 TEL 61-8891(福島方)

指導者: 新妻ゆき子 携帯090-2260-0671

Eメール:yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索

ホームページ <http://www.yukiko-kumon.com>

時の記念日

6月10日は「時の記念日」です。「時間をきちんと守り、欧米並みの生活の改善、合理化を図る」という目的を掲げて1920年に設けられたのが「時の記念日」です。

「時の記念日」が制定された1920年は近代化への基礎固めが終わり、次のステップに入る頃です。

次世代に向けて、時間効率の向上を図っていた時代で、国民の生活も落ち着きを取り戻してきたこの時期に、あらためて時間の大切さを見直そうと意図したようです。

ちなみに、時の記念日が6月10日に定められた理由は、671年、天智天皇が日本で初めて設置した水時計、“漏刻”(ろうこく)が時を刻み、鐘を打った日であるとの記述が由来となっているとのことです。

今では、公共の交通機関はもとより日常生活での時間の正確さにおいては、日本は世界的にも非常に高水準だと評価されていますが、この時間厳守の精神は時の記念日による啓蒙活動の影響も結構大きいのだそうです。

「時間を守る」というスローガンとともに始まった「時の記念日」ですが、現在では、「過ぎ去った時間の尊さを考える日」という意味合いが強くなってきているそうです。

「時の記念日」には、楽しく過ごした思い出の時間と、これから訪れる大切な未来の時間について、家族や友だちなど、大切な人と一緒に過ごし、考えてみてはいかがでしょうか。

公文式の創始者・公文 公(くもん とおる) 先生の言葉より

“「学年を越えて進む」ことで自信と余裕が生まれる”

子どもにとって、小学校の算数は勉強のゴールと考えるのではなく、中学、高校に進んで数学で苦勞しなくてすむような学習をさせてあげるべきです。

中学生や高校生がいちばん勉強時間をとられている科目は数学だと言います。「数学さえなかったら…」とため息をついている生徒がたくさんいます。数学が不得手なために進路選択の幅をせばめている子どもが多い昨今、数学を得意科目としてもつことは大きな武器となることでしょう。

公文式では、小学生のうちから無理なく中学課程、高校課程の数学に進ませて、中学・高校という、より幅広く多様な内容と出合える時期に、自信と余裕をもって学校生活をおくってほしいと願っています。先へ先へと公文式で予習していることで学校の授業はよく理解できますし、家庭でも数学の勉強に費やす時間はうんと少なくてすむでしょう。そうして得られた時間で、他の科目の勉強や、クラブ活動なり読書なりに思い切り打ちこんでほしいのです。

2018年6月の学習日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

本市場教室日□

横割教室日△

保護者様へお願い。

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

6月分の会費引き落としは5月28日(月)です。よろしくお願ひいたします。

(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。

教室からご家庭に連絡される生徒さんの場合は固定電話・指導者携帯電話・メール等はいずれも10円納入願ひます。

*学習終了後、学校の宿題をやってもかまいませんが、おしゃべりしたり、だらだらやる子は、即退出してもらいます。ご了承ください。

KUMON

様

*ゆき子の一言コラム

六年間の総和でなく積をめざす

六歳から十二歳までの六年間を、子どもたちは小学校で生活します。人生のなかの六年間としてもけっこう長いものですが、ヒトが人となるもっとも大切な時期、幼児期から思春期前期までのもっとも成長のはげしい時期、これが小学校生活の時期です。この大切な六年間を、私は四十数年間も公文の指導者をしてきましたが、「小学校六年間でどんな力をつけるのか」という課題に真剣に立ち向かってきました。目の前の子どもたちの教育に全力で立ち向かっていればそれで十分だと考えていたからですが、その子の成長に果たさなければならない課題や、小学校の社会的な役割が見えてきてこそ、活性化されなければならないと思いました。

(小学校六年間でつきたい力)

①一斉授業のなかで自分を生かし・自分をきたえることができる力

学習課題をもって授業に参加し、教師・友だちとともに授業をつくることができる。

自分の意見、友だちの意見を大切に、課題を深める発言ができ、授業づくりについての評価

②家庭学習の習慣がついておいて、一日1時間程度のひとり学習ができる力。

宿題がなくても、テスト勉強や予習、復習など、自分で課題を見つけて家庭でひとり学習に取り組める。

③よどみなく音読ができ、はじめての文でも逐語的読解ができる力(読む)

すべての教科の音読がよどみなくできる。

読解することで、筆者の意見を正確に述べ、自分の意見もつけ加えることができる。

いつでも読みさしの本を身近にもって、時間があれば読書する習慣がある。

④ノートを工夫してつくる、学習したことを文章化できる力(書く)

調べ学習などをレポートとしてB4一枚にまとめることができる。

1006字の漢字をマスターしている。ローマ字で口述筆記し、連絡帳を書くことができる。

社会・理科の教科書から問題づくりをし、文章化できる。

⑤小数・分数までの四則ができ、わり算・かけ算の活用ができる力(計算)

単位あたりの量がわかり、速度、割合などに活用できる。倍数・約数の活用ができる。

文章題を単位をつけて立式することができる。

⑥授業中、自分の意見を友だちの意見と関連づけて発言でき、司会ができる力(話す)

⑦自分の意見と同じところ、ちがうところを整理しながら聞くことができる力(聞く)

発言に対してつねに意見を用意しながら聞くことができる。

話している人が心地よく話せるように聞くことができる。

⑧理科、社会の知識のネットワークを確実に作りあげる力

基本的で網羅的な知識のネットワーク、基礎的な教養をもっている。

いろいろな情報で知識のネットワークをゆたかにしようとする。

社会的現象、理科的現象に興味をもち、関心を抱く。

⑨自分に興味をもち、自分をゆたかにきたえようとする力

自分のからだに関心をもち、技をみがいたり、きたえようとする。

自分に興味をもち、身だしなみを整えたり、おしゃれしようとする。

芸術教科に関心をもち、すすんで取り組もうとする。

⑩他者に興味をもち・あこがれや共感、ちがいを感じ、交流しようとする力

理想の人間像を抱き、あこがれ、そのようになろうとする。

深い友情を求め、友だちと交流を深めようとする。異性へのあこがれをもち、交流しようとする。

このように整理していくと、もうほとんど大人と変わらない程度に育って卒業していくのだということがわかります。

こどもたちはたいしたことをやりとげているのだなあ、とある種の感慨を覚えます。

公文指導者として日々子どもたちと接していると、今の小学校の六年間は昔と比べてかなり大変な思いがくみ取れます。私たち指導者の役割は、学校教育プラスさらによりわかる教育を一人一人にサポートすることです。

*教室での決まりごと。①はきものはきちんとそろえよう！ ②あいさつは おおきなこえで はっきりしよう！

③もちものには なまえ をかきましょう！④でんわをかりたら かならず でんわ代10えん いれてください！

教室は午後7時に終了します。学習に要する時間を逆算して来てください。また、できる限り学習日には、学校が終わったらすぐ来るようにしてください。たっぷり遊んでからでは、勉強に集中できません。